

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市向陽台児童館		
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 26,946人(前年度比 113.4%) 令和3年度 23,763人 令和2年度 19,520人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 42,997千円 (43,558千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>【児童健全育成事業】遊びの充実を図るため、季節や伝統行事、工作や運動遊びを行いました。講師を招いた行事は普段できない体験ができました。特にけん玉は講師による定期的な指導もあり、挑戦する子どもが増え日常の遊びへと定着しました。今後も伝統的な遊びを取り入れ、文化の伝承を担う子どもたちを育てまいります。</p> <p>【子育て家庭支援事業】「赤ちゃんが生まれたら児童館へ！」をスローガンに、「児童館デビュー」のきっかけになるよう0歳親子向け「ひよこちゃん」を毎月行いました。身近な児童館で気軽に育児相談できるよう関係機関と連携しました。また、子育て支援クラブの協力を得て開催したヨガや「マナーセミナー」等、託児付きの講座は、リフレッシュできたと好評でした。次年度は「ママのリフレッシュタイム」と題し保護者向けの活動を定期的に開催します。幅広く切れ目のない子育て支援を目指してまいります。</p> <p>【地域交流推進事業】向陽台中学校、子育て支援クラブや「親父の会」、山の寺洞雲寺の協力を得て、伝統行事、地域や自然に興味を持てるよう活動を行いました。5か年計画の完結を迎えた「地域カルタ」は、地域の皆さんから読み札を募集し、絵札は向陽台中学校の美術部が制作しました。児童館外壁へ展示した期間中、地域の皆様が関心を持ってご覧くださいました。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】子ども一人一人や集団として主体的に成長できるよう遊びや活動を支援し、心身の健やかな成長や発達、自立を図る育成支援をすることができました。「交流活動」では高齢者施設へ、子どもたちが制作した大型壁画を贈りました。施設の方々や保護者からも褒められたことが、認められる経験となり自己肯定感が高まる活動となりました。次年度も児童館で生まれた出会いがたくさん笑顔になって地域に広がっていくよう、多様な事業を展開してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、季節の行事、運動遊び、伝承遊び等、ジュニアリーダーや地域の方との交流を通して小学生に多様な遊びを提供して遊びへの意欲を引き出し、できた自信や自己肯定感を育てている。また小学生が土曜日開催の行事参加をきっかけに児童館の楽しさを知り自由来館の利用促進に繋がった。「高学年クラブ」は自主企画の実現に向け意欲的に取り組み、達成感や自己肯定感を得る機会となり、高学年の放課後の居場所作りを図りつつ小学生ボランティアの育成にも繋がった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブの他、0歳児対象の定例行事が充実しており、児童館デビューのきっかけ作りの一翼を担っている。その他運動会、クリスマス会等の行事をはじめ、恒例のスマイルサマーテラスは水遊びの場を提供し保護者から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域の史跡めぐり・伝統文化の伝承や自然体験を、親父の会等、地域の方々の協力を得て様々な体験活動の場を提供し、地域との交流を広げ子どもの意欲や自主性を育む取り組みを行っている点が評価できる。また5年間地域一体で取り組んできた地域カルタが令和4年度完成し、児童館のフェンスに展示すると乳幼児親子や中学生等、地域の多くの方が訪れ児童館を真ん中に多世代交流が広がった。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、秋休みを利用し、縦割りによるスポーツ大会を通して子ども達が相互理解を深める機会となった。また地域のデイサービスに暑中お見舞いや年賀状を送り、非対面の交流を図り子ども達の活動と交流の場を広げる取り組みが積極的に行われている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課